

学期	月	【1年】 題材		学習目標	時 数	指導 要領	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	4	ガイ ダンス		家庭分野のガイダンス	1	A(1) ア	・自分の成長と家 族や家庭生活とのかかわりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家庭や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。	・これからの学びに向けて、小学校の学習を思い出している。	・これからの家庭 分野の学習に向けて、意欲をもって取り組む姿勢をもっている。
		A家族・家庭生活	1家族・家庭や地域とのかかわり	①家族の一員としてできることを考えよう	5	A(1) ア (3) ア (ア) (イ) イ	・家族・家庭の基本的な機能について理解している。	・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定している。	・家族関係をより よくする方法について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
	②家族関係をよりよくする方法を考えよう			・家族の互いの立場や役割について理解している。			・家族関係をよりよくする方法について考え、工夫している。	・家族関係をよりよくする方法について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
	③高齢者とかかわりを知ろう			・高齢者の一般的な身体の特徴にいて理解している。			・高齢者とかかわりについて、考察したことを論理的に表現している。	・高齢者の立場で考え、適切にかかわろうとしている。	
	④家庭生活と地域のかかわりを知ろう			・高齢者など地域の人々と協働する必要があることを理解している。			・高齢者や地域の人々とかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・高齢者など地域の人々とかかわりについて課題解決に主体的に取り組もうとしている。	
	⑤家族・家庭生活や地域とかかわりについて考え、工夫する			・家族・家庭生活について、単元で学習したことを理解している。			・家族関係をよりよくする方法について問題を見いだして課題を設定している。	・家族関係をよりよくする方法について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
	6	B衣食住の生活	4私たちの衣生活	①衣服のはたらきを知ろう	6	B(4) ア (ア) (イ) イ	・衣服と社会生活とかかわりが分かり、衣服の基本的な働きについて理解している。	・衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。	・衣服の選択について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
				②目的に合わせて自分らしく着よう			・衣服と社会生活 のかかわり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解している。	・さまざまな場面での衣服を想像し、働きと結びつけて考えることができている。	・毎日の衣服について、衣服の働きを意識し、改善しようとしている。
	③自分に合った衣服を手に入れよう			・衣服を適切に選択するためのポイント、衣服の表示の読み取り方について理解している。			・衣服の選択について考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりしている。	・衣服の選択について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	
	④衣服の手入れをしよう			・洗濯方法、洗剤の特徴について理解しているとともに、適切に手入れができる。 ・衣服の収納や保管の方法について理解しているとともに、適切にできる。			・衣服の材料や状態に合わせた日常着の洗濯について 問題を見いだして課題を設定し、考え、工夫している。 ・衣服の材料や状態 に合わせた日常着の洗濯について考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりしている。	・衣服の手入れについて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の手入れについて、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	
	⑤衣服を計画的に活用できるようにしよう			・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。			・衣服の選択について問題を見出して課題を設定している。	・衣服の選択ついて、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	
2 3	9 10 11 12 1		5生活を豊かにする製作	布を使ってつくってみよう	17	B(5) ア イ	・製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全 な取り扱いについて理解しているとともに、手縫いやミシン縫いによる製作が適切にできる。	・生活を豊かにするための布を用いた製作について問題を見いだして課題を設定し、考え、工夫している。 ・生活を豊かにするための布を用いた製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題解決に向けた 一連の活動をふり返って改善しようとしており、工夫し創造し、実践しようとしている。
3	2	B衣食住の生活	6私たちの住生活	①住まいの働きを知ろう	6	B(6) ア (ア) (イ) イ	・住まいの基本的な機能について理解している。 ・自分や家族の生活行為と住空間とかかわりを理解している。	・住まいの空間を自分の生活と結びつけて考えることができている。	・住空間の働きについて考え、家庭での生活改善に向けた意欲をもっている。
				②家族が暮らしやすい住まい方を考えよう			・住生活に対する家族の思いや願いを互いに尊重しながら調整して住空間を整える必要があることを理解している。	・安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
				③健康を守る室内環境の整え方を考えよう			・住居内で安全に生活できるよう住空間を整える必要があることを理解している。	・安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
				④家庭内事故から家族を守ろう			・家庭内事故の要因と対策について理解している。	・安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫し、実践を評価したり、改善したりしている。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしており、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
	3		⑤災害に備えた安全な住まい方を考えよう	・自然災害に備えた安全な住空間の整え方について理解している。			・安全な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、住空間の整え方について考え、工夫することができる。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について工夫し創造し、実践しようとしている。	
			⑥私たちの住生活について考え、工夫する	・住生活について、単元で学習したことを理解している。			・安全な住まい方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。	

評価方法	・定期考査 ・学習プリント ・実技
観点別学習状況について	観点ごとに達成度を計算し、A…80％以上 B…50％以上 C…50％未満 で算出する。
評定への総括方法	各観点の達成度を総括（％）し、5…90％以上 4…80％以上 3…50％以上 2…20％以上 1…20％未満 として算出する。

学期	月	【2年】題材		時数	指導要領	○学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	4	1 食事の役割と食習慣	①食事の役割	1	B(1) ア	○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。	・自分の食習慣について問題を見い出して課題を設定している。	・自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて、自分の食生活について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			②健康によい食習慣	1	B(1) ア	○健康に良い食事について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
	5	2 中学生に必要な栄養を満たす食事	①中学生の発達と必要な栄養	1	B(2) アイ	○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。	・中学生の1日分の献立について問題を見い出して課題を設定している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	2	B(2) アイ	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。		
	6	3 さまざまな食品とその選択	③栄養バランスを目で見て判断	1	B(2) アイ	○中学生が1日にとりたい食品と分量を知る。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・中学生の1日分の献立について解決策を構想している。	・食品の選択について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・よりよい生活の実現に向けて、食品の選択について、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			食品が食卓にのぼるまで ①生鮮食品の選択と保存	1	B(3) アイ	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見い出して課題を設定している。	
			②加工食品の選択	1	B(3) アイ	○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。	・日常生活と関連付け、用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。	・食品の選択について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	
	7		③食品の安全と情報	2	B(3) アイ	○食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切に選択できる。		
	2	9	4 日常食の調理	①調理の計画 ②おいしさと調理	2	B(3) アイ	○調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理を理解しているとともに、適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見い出して課題を設定している。 ・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。
10		③ますます好きになる肉の調理		2	B(3) アイ	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。	・材料に適した加熱調理の仕方を理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
		④こんなにおいしい魚の調理		2	B(3) アイ	○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・魚に適した加熱調理の仕方を理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。		
11		5 地域の食文化	⑤好きになる野菜の調理	2	B(3) アイ	○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。	・野菜に適した加熱調理の仕方を理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・和食の調理の問題を課題設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・和食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			地域の食文化	3	B(3) アイ	○地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。	・地域の食文化を理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。		
12		生活の課題と実践	生活の課題と実践	4	A(4) B(7)	○今まで学習してきた「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」の中からほかの内容とも関連させて課題を設定して、課題解決に向けて計画を立て実践できる。 ○実践したことをまとめ、発表し、よりよい生活にするための新たな課題を見つけ次の実践につなげられる。		・自分や家族の食生活の問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・自分や家族の食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3	1	6 献立づくり	1日分の献立	3	B(2) アイ	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	・1日分の献立を作成する方法を理解している。	・中学生の1日分の献立の問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・中学生の1日分の献立について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

学期	月	【2年】題材		時数	指導要領	○学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3	1	7 持続可能な食生活	持続可能な食生活をめざして	1	B(1)(2)(3) C(2)	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	・よりよい食生活を目指して、食事の役割や栄養、献立、調理などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。
	2	C1 家庭生活と消費	①消費生活のしくみ	1	C(1)アイ	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。	・物資・サービスについて理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			②家庭生活における収入と支出	1	C(1)アイ	○収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
	3	2 購入・支払いと生活情報	①いろいろな購入方法	1	C(1)アイ	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
			②購入前に知っておくこと	1	C(1)アイ	○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。	・売買契約の仕組みについて理解している。		
			③いろいろな支払い方法	1	C(1)アイ	○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。	・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
			④情報を活用した上手な購入	1	C(1)アイ	○生活情報の収集や活用のしかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	

評価方法	・定期考査　・学習プリント　・実技
観点別学習状況について	観点ごとに達成度を計算し、A…80%以上　B…50%以上　C…50%未満　で算出する。
評定への総括方法	各観点の達成度を総括（％）し、5…90%以上　4…80%以上　3…50%以上　2…20%以上　1…20%未満　として算出する。

学期	月	【3年】題材		時数	指導要領	○学習目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
1	4	3 消費者被害と消費者の自立	①なくなる消費者被害	1	C(1)アイ	○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組み、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
	5		②消費者を支えるもの	1	C(1)アイ	○消費者を支えるしくみについて理解できる。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。				
			③消費者の権利と責任	1	C(1)アイ	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。			
	6	4 持続可能な社会	①消費行動が社会に与える影響	1	C(2)アイ	○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。		
			②消費行動が環境に与える影響	1	C(2)アイ	○環境に配慮したライフスタイルを選択し、実践できる。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。				
			③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	1	C(2)アイ	○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。			
	7		①幼児のころと今自分	1	A(2)ア	○幼児期への関心をもつ。		・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。		
			2	A2 幼児の生活と家族	②幼児の体の発達	1	A(2)ア	○幼児の身体の発育について、発達の方向性や順序性とともに、個人差があることを理解する。		・幼児の身体の発達の特徴について理解している。	
					③幼児の心の発達	1	A(2)ア	○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。		・幼児の心の発達の特徴について理解している。	
	④発達にとってのおとなの役割	1			A(2)アイ	○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想している。			
	⑤遊びが必要なわけ	1			A(2)ア	○自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。	・幼児にとっての遊びの意義を理解している。				
	⑥遊びを支える環境	1			A(2)アイ	○幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。		・幼児との関わりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。			
12	3 幼児とのかかわり	④子どもの成長と地域	1	A(2)アイ	○子どもの成長と地域のかかわりについて知り、地域の中で、中学生ができることを考える。	・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・幼児との関わりについて解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。			
3	1	4 家庭生活と地域のかかわり	①家庭生活と地域での活動	1	A(3)アイ	○家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。		
			②多様な人びとが暮らす地域	1	A(3)アイ	○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。	・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。	・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。		
			③地域に暮らす高齢者	1	A(3)アイ	○地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。	・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・地域との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている		
	④高齢者とのかかわり		1	A(3)アイ	○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわりを考える。	・介護など高齢者との関わり方について理解している。					
3	3	3年間をふり返って		0.5	ABC	○3学年間の学習を振り返り、多くのことができるようになったことに気づく。			・家庭分野で学習したことを今後の生活に生かそうとしている。		

評価方法	・定期考査　・学習プリント　・実技
観点別学習状況について	観点ごとに達成度を計算し、A…80%以上　B…50%以上　C…50%未満　で算出する。
評定への総括方法	各観点の達成度を総括（％）し、5…90%以上　4…80%以上　3…50%以上　2…20%以上　1…20%未満　として算出する。